

百人一首集 2

二〇一三年二月十四日

改訂

百人一首の勉強の仕方

●作文教室 言葉の森

ひやくにんいっしゅ べんきょう しかた
一日に三首を、三十回ぐらい音読し、三首続けて暗唱できるようにな
しましよう。かかる時間は十分ぐらいです。

つづ
あんしょう
続けて暗唱できる人は、一週間で九首、一ヶ月で二十七首続けて
暗唱できるようにしていきましょう。

ことば いみ
言葉の意味を知りたいときは、古語辞典やウェブ古語辞典で調べま
しょう。

ウェブ古語辞典
<http://kobun.weblio.jp/>



ひやくにんいっしゅ かてい
百人一首集は、家庭学習国語のページにあります。
<http://www.mor17.com/kg/koku/>

やまざ 山里は冬ぞさびしさまさりける人目も草もかれぬと思へば

源宗干朝臣 古今集

やまざとはふゆぞさびしさまさりけるひとめもくさもかれぬとおもへば山里(ヤマザト名)は(ハ係助)冬(フユ名)ぞ(ゾ係助)さびしさ(サビシサ名)まさり(マサル動ラ四用)ける(ケリ助動詠嘆体)③人目(ヒトメ名)も(モ係助)草(クサ名)も(モ係助)かれ(カル動ラ下二用)ぬ(ヌ助動完了・強意終)と(ト格助)思へ(オモフ動ハ四已)ば(バ接助)

こころあ 心あてに折らばや折らむ初霜のおきまどはせる白菊の花

凡河内躬恒 古今集

こころあてにをらばやをらむはつしものおきまどはせるしらぎくのはな心あて(ココロアテ名)に(ニ格助)折ら(ヲル動ラ四未)ば(バ接助)や(ヤ係助)折ら(ヲル動ラ四未)む(ム助動意志体)②初霜(ハツシモ名)の(ノ格助)おきまどはせ(オキマドハス動サ四已)る(リ助動存続体)白菊(シラギク名)の(ノ格助)花(ハナ名)

ありあ 有明のつれなく見えし別れより暁ばかり憂きものはなし 壬生忠岑 古今集

ありあけのつれなくみえしわかれよりあかつきばかりうきものはなし有明(アリアケ名)の(ノ格助)つれなく(ツレナシ形ク用)見え(ミユ動ヤ下ニ用)し(キ助動過去体)別れ(ワカレ名)より(ヨリ格助)暁(アカツキ名)ばかり(バカリ副助)憂き(ウシ形ク体)もの(モノ名)は(ハ係助)なし(ナシ形ク終)

2 あさぼらけ 朝ぼらけ有明の月とみるまでに吉野の里にふれる白雪

坂上是則 古今集

あさぼらけありあけのつきとみるまでによしののさとにふれるしらゆき朝ぼらけ(アサボラケ名)有明(アリアケ名)の(ノ格助)つれなく(ツレナシ形ク用)(ツキ名)と(ト格助)みる(ミル動マ上一体)まで(マデ副助)に(ニ格助)吉野(ヨシノ名)の(ノ格助)里(サト名)に(ニ格助)ふれ(フル動ラ四已)る(リ助動打消体)紅葉(モミヂ名)なり(チリ助動断定用)けり(ケリ助動詠嘆終)

3 あさぼらけ 山川に風のかけたるしがらみは流れもあへぬ紅葉なりけり

春道列樹 古今集

やまがはにかぜのかけたるしがらみはながれもあへぬもみぢなりけり山川(ヤマガハ名)に(ニ格助)風(カゼ名)の(ノ格助)かけ(カク動力下ニ用)たる(タリ助動存続体)しがらみ(シガラミ名)は(ハ係助)流れ(ナガル動ラ下ニ用)も(モ係助)あへ(アフ動ハ下ニ未)ぬ(ズ助動打消体)白雪(シラユキ名)

ひさ 久方の光のどけき春の日にしづごころなく花の散るらむ 紀友則 古今集

藤原興風 古今集

ひさかたのひかりのどけきはるのひにしづごころなくはなのちるらむ久方の(ヒサカタノ枕詞)光(ヒカリ名)のどけき(ノドケシ形ク体)春(ハル名)の(ノ格助)日(ヒ名)に(ニ格助)しづごころ(シヅゴコロ名)なく(ナシ形ク用)花(ハナ名)の(ノ格助)散る(チル動ラ四終)らむ(ラム助動原因推量体)

3 たれ たれをかも知る人にせむ高砂の松も昔の友ならなくに

藤原興風 古今集

たれをかもしるひとにせむたかさごのまつむかしのともならなくにたれ(タレ代名)を(ヲ格助)か(カ係助)も(モ係助)知る(シリル動ラ四体)人(ヒト名)に(ニ格助)せ(ス動サ変未)む(ム助動意志体)②高砂(タカサゴ名)の(ノ格助)松(マツ名)も(モ係助)昔(ムカシ名)の(ノ格助)香(カシ名)に(ニ格助)友(トモ名)なら(ナリ助動断定未)な(ズ助動打消未)く(ク接尾に(ニ接助)

ひとは 人はいさ心も知らずふることは花ぞ昔の香ににほひける 紀貫之 古今集

清原深養父 古今集

ひとはいさこころもしらずふることははなぞむかしのかににほひける人(ヒト名)は(ハ係助)いさ(イサ副)心(ココロ名)も(モ係助)知ら(シリル動ラ四未)ず(ズ助動打消終)②ふるさと(フルサト名)は(ハ係助)花(ハナ名)ぞ(ゾ係助)昔(ムカシ名)の(ノ格助)香(カシ名)に(ニ格助)にほひ(三ホフ動ハ四用)ける(ケリ助動詠嘆体)

なつ 夏の夜はまだ宵ながら明けぬるを雲のいづこに月宿るらむ 清原深養父 古今集

なつのよはまだよひながらあけぬるをくものいづこにつきやどるらむ夏(ナツ名)の(ノ格助)夜(ヨ名)は(ハ係助)まだ(マダ副)宵(ヨヒ名)ながら(ナガラ接助)明け(アク動力下ニ用)ぬる(ヌ助動完了体)を(ヲ接助)雲(クモ名)の(ノ格助)いづこ(イヅコ代名)に(ニ格助)月(ツキ名)宿る(ヤドル動ラ四終)らむ(ラム助動現在推量体)



4

しら

しらつゆに風の吹きしく秋の野はつらぬきとめぬ玉ぞ散りける

文屋朝康 後撰集

しらつゆにかぜのふきしくあきのはつらぬきとめぬたまぞちりけるしらつゆ(シラツユ名)に(ニ格助)風(カゼ名)の(ノ格助)吹きしく(フキシク動カ四体)秋(アキ名)の(ノ格助)野(ノ名)は(ハ係助)つらぬき(ツラヌク動カ四用)とめ(トム動マ下二未)ぬ(ズ助動打消体)玉(タマ名)ぞ(ゾ係助)散り(チル動ラ四用)ける(ケリ助動詠嘆体)

わすら

忘らるる身をば思はずちかひてし人の命のをしくもあるかな

右近

拾遺集

わすらるるみをばおもはずちかひてしひとのいのちのをしくもあるかな忘ら(ワスル動ラ四未)るる(ル助動受身体)身(ミ名)を(ヲ格助)ば(ハ係助)思は(オモフ動ハ四未)ず(ズ助動打消終)②ちかひ(チカフ動ハ四用)て(ツ助動完了用)し(ヰ助動過去体)人(ヒト名)ト名)(ノ格助)命(イノチ名)の(ノ格助)をしく(ヲシ形シク用)も(モ係助)ある(アリ)補動(ラ変体)かな(カナ終助)

あさぢ

あさぢふのをののしのはらしのぶれどあまりてなどかひとのこひしき浅茅生の(アサヂフノ枕詞)小野(ラノ名)の(ノ格助)篠原(シノハラ名)しのぶれ(シノブ動バ上二已)ど(ド接助)あまり(アマル動ラ四用)て(テ接助)など(ナド副)か(カ)係助)人(ヒト名)の(ノ格助)恋しき(コヒシ形シク体)

参議等

後撰集

あさぢ

あさぢふのをののしのはらしのぶれどあまりてなどかひとのこひしき浅茅生の(アサヂフノ枕詞)小野(ラノ名)の(ノ格助)篠原(シノハラ名)しのぶれ(シノブ動バ上二已)ど(ド接助)あまり(アマル動ラ四用)て(テ接助)など(ナド副)か(カ)係助)人(ヒト名)の(ノ格助)恋しき(コヒシ形シク体)

しの

しのぶれど色に出でにけりわが恋はものや思ふと人の問ふまで平兼盛

こひ

しのぶれどいろにいでにけりわがこひはものやおもふとひととふまでのぶれ(シノブ動バ上二已)ど(ド接助)色(イロ名)が(ガ格助)名(ナ名)は(ハ係助)まだき(マダキ副)立ち(タツ動タ四用)に(ヌ助動完了用)けり(ケリ)助動詠嘆終)②わ(ワ代名)が(ガ格助)恋(コヒ名)は(ハ係助)もの(モノ名)や(ヤ係助)思ふ(オモフ動ハ四体)と(ト格助)人(ヒト名)の(ノ格助)問ふ(トフ動ハ四体)まで(マデ副助)

ちぎりき

ちぎりき恋すてふわが名はまだき立ちにけり人知れずこそ思ひそめしか

壬生忠見

拾遺集

ちぎりき

ちぎりきなかたみにそでをしばりつつすゑのまつやまなみこじとは契り(チギル動ラ四用)き(ヰ助動過去終)な(ナ終助)①かたみに(カタミニ副)袖(ソデ名)を(ヲ格助)しばり(シボル動ラ四用)つつ(ツツ接助)末の松山(スエノマツヤマ名)浪(ナミ名)越さ(コス動サ四未)じ(ジ)助動打消推量終)と(ト格助)は(ハ係助)

ちぎりき

ちぎりきなかたみに袖をしばりつつ末の松山浪越さじとは清原元輔

後拾遺集

6

あひみての後のこころにくらぶれば昔はものを思はざりけり

権中納言敦忠 拾遺集

あひ

あひみてののちのこころにくらぶればむかしはものをおもはざりけりあひみ(アヒミル動マ上一用)て(テ接助)の(ノ格助)たえて(タノチ名)の(ノ格助)こころ(ココロ名)に(ニ格助)くらぶれ(クラブ動バ下二已)ば(バ接助)昔(ムカシ名)は(ハ係助)も(モ係助)身(ミ名)を(ヲ格助)も(モ係助)うらみ(ウラム動マ上二未)ざら(ズ助動打消未)まし(マシ助動反実仮想終)

あふ

あふ逢ふことのたえてしなくはなかなかに人をも身をもうらみざらまし

中納言朝忠 拾遺集

あふ

あふみてののちのこころにくらぶればむかしはものをおもはざりけりあひみ(アヒミル動マ上一用)て(テ接助)の(ノ格助)たえて(タノチ名)の(ノ格助)こころ(ココロ名)に(ニ格助)くらぶれ(クラブ動バ下二已)ば(バ接助)昔(ムカシ名)は(ハ係助)も(モ係助)身(ミ名)を(ヲ格助)も(モ係助)うらみ(ウラム動マ上二未)ざら(ズ助動打消未)まし(マシ助動反実仮想終)

あはれ

あはれともいふべき人は思ほえで身のいたづらになりぬべきかな

謙徳公 拾遺集

あはれともいふべき人は思ほえで身のいたづらになりぬべきかなあはれ(アハレ感動)と(ト格助)も(モ係助)いふ(イフ動ハ四終)べき(ベシ)助動当然体人(名)は(ハ係助)思ほえ(オモホユ動ヤ下二未)で(デ接助)身(ミ名)の(格助)いたづらに(イタヅラナリ形動ナリ)ナル動ラ四用)ぬ(ヌ助動強意終)べき(ベシ)助動推量体)かな(カナ終助)



ゆらの門を渡る舟人かぢを絶え行方も知らぬ恋のみちかな 曽禰好忠 新古今集

藤原義孝 後拾遺集

ゆらのとを わたるふなびと かぢをたえ ゆくへもしらぬ こひのみちかな 由良(ユラ名)の(ノ)格助門(ト名)を(ヲ)格助渡る(ワタル動ラ四体)舟人(フナビト名)かぢを(カヂヲ名)絶え(タユ動ヤ下ニ用)行方(ユクヘ名)も(モ)係助知ら(シル動ラ四未)ぬ(ズ)助動打消体)恋(コヒ名)の(ノ)格助みち(ミチ名)かな(カナ終助)

やへ 八重葎しげれる宿のやびしきに人こそ見えね秋は来にけり 恵慶法師 拾遺集

源重之 詞花集

やへむぐら しげれるやどの さびしきに ひとこそみえね あきはきにけり 八重葎(ヤヘムグラ名)しげれ(シゲル動ラ四已)る(リ)助動存続体宿(ヤド名)の(ノ)格助さびしき(サビシ形シク体)に(ニ)接助人(ヒト名)こそ(コソ)係助見え(ミユ動ヤ下ニ未)ね(ズ)助動打消已)秋(アキ名)は(ハ)係助來(ク)動力変用)に(ヌ)助動完了用)けり(ケリ)助動詠嘆終)

かぜを 風をいたみ岩うつ波のおのれのみくだけてものを思ふころかな 源重之 詞花集

藤原義孝 後拾遺集

かぜをいたみ いはうつなみの おのれのみくだけてものを おもふころかな 風(カゼ名)を(ヲ)間助いた(イタシ形ク語幹)み(ミ)接尾(岩(イハ名)うつ(ウツ)動タ四体)波(ナミ名)の(ノ)格助おのれ(オノレ代名)のみ(ノミ)副助くだけ(クダク動カ下ニ用)て(テ)接助もの(モノ名)を(ヲ)格助思ふ(オモフ動ハ四体)ころ(コロ)名かな(カナ終助)

みかき みかきもり衛士のたく火の夜はもえ昼は消えつつものをこそ思へ 大中臣能宣朝臣 詞花集

藤原義孝 後拾遺集

みかきもり 烟じのたくひの よるはもえ ひるはきえつつ ものをこそおもへ みかきもり(ミカキモリ名)衛士(エジ名)の(ノ)格助たく(タク)動力四体火(ヒ名)の(ノ)格助夜(ヨル名)は(ハ)係助もえ(モユ動ヤ下ニ用)昼(ヒル名)は(ハ)係助消え(キユ動ヤ下ニ用)つつ(ツツ接助)もの(モノ名)を(ヲ)格助こそ(コソ)係助思へ(オモフ動ハ四已)

きみがためを 君がため惜しからざりし命さへ長くもがなと思ひけるかな 藤原義孝 後拾遺集

藤原義孝 後拾遺集

きみがため をしからざりし いのちさへ ながくもがなと おもひけるかな 君(キミ代名)が(ガ)格助ため(タメ名)惜しから(ヲ)シ形シク未)ざり(ズ)助動打消用)し(ヰ)助動過去体)命(イノチ名)さへ(サヘ)副助長く(ナガシ形ク用)もがな(モガナ終助)と(ト)格助思ひ(オモフ動ハ四用)ける(ケリ)助動詠嘆体)かな(カナ終助)

かく かくとだにえやはいぶきのやしも草やしも知らじな燃ゆる思ひを 藤原実方朝臣 後拾遺集

藤原実方朝臣 後拾遺集

かくとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもひを かく(カク副)と(ト)格助だに(ダニ副)え(工副)や(ヤ)係助は(ハ)係助いぶき(イブキ名)の(ノ)格助さしも草(サシモグサ名)さ(サ副)しも(シモ副)助(シル動ラ四未)じ(ジ)助動打消推量終な(ナ)終助④燃ゆる(モユ動ヤ下ニ体)思ひ(オモヒ名)を(ヲ)格助

9 あけ 明けぬれば暮るるものとは知りながらなほうらめしき朝ぼらけかな 藤原道信朝臣 後拾遺集

藤原道信朝臣 後拾遺集

あけぬれば くるものとは しりながら なほうらめしき あさぼらけかな 明け(アク動力下ニ用)ぬれ(ヌ)助動完了已)ば(バ)接助暮る(クル動ラ下ニ体)もの(モノ名)と(ト)格助は(ハ)係助知り(シル動ラ四用)ながら(ナガラ接助)なほ(ナホ副)うらめしき(ウラメシ形シク体)朝ぼらけ(アサボラケ名かな(カナ終助)

なげき なげきつつひとり寝る夜の明くるまはいかに久しきものとかは知る 右大将道綱母 拾遺集

右大将道綱母 拾遺集

なげきつつ ひとりぬるよの あくるまは いかにひさしき ものとかはしる なげき(ナゲク動力四用)つつ(ツツ)接助ひとり(ヒトリ)名寝る(ヌ)動ナ下ニ体)夜(ヨ名)の(ノ)格助明くる(アク動力下ニ体)ま(マ名)は(ハ)係助いかに(イカニ副)久しき(ヒサシ形シク体)もの(モノ名)と(ト)格助か(カ)係助は(ハ)係助知る(シル動ラ四体)

わすれ わすれじの行末まではかたければ今日をかぎりの命ともがな 儀同三司母 新古今集

新古今集

わすれじの ゆくすゑまでは かたければ けふをかぎりの いのちもがな わすれ(ワスル動ラ下ニ未)じ(ジ)助動打消意志終)の(ノ)格助行末(ユクスエ名)まで(マデ副助)は(ハ)係助かたけれ(カタシ形ク已)ば(バ)接助今日(ケフ名)を(ヲ)格助かぎり(カギリ名)の(ノ)格助命(イノチ名)と(ト)格助もがな(モガナ終助)

